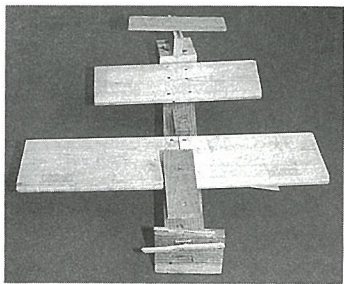




4年 鈴木裕史くん



『飛行機』

※くぎやボンド
を使ってつけ
ました。つば
さを三つにし
たところを工
夫しました。



1年 野村沙由里さん



『わたしがテレビにでたら』

※私がテレビに
でてお料理を
作っているこ
ろです。テ
レビのわくの
模様を工夫し
ました。



5年 ゆか
實川結花さん



『便利な手下げ』

※袋の口や中の
仕切りの部分
など、ほつれ
やすい所は返
しぬいで仕上
げました。



2年 たくみ
金杉拓未くん



『ザリガニ』

※生活科の学習
でつかまえた
ザリガニをか
きました。ハ
サミを工夫し
ました。



6年 鈴木弘之くん



『つり』

※川の色や人間
やまわりの工
夫が自分にと
つてはすく
よくてきたと
思います。



3年 金杉 司くん



版画 『玉入れ』

※人が、お手玉
を投げている
ように作るの
に苦労しまし
た。

あつまれ みんなの 力作



ひかり歌壇



鈴木甲子幸 (白磯)

育て米し矮性鶏頭五十株
五色の炎点すがに咲く

育て甲斐があつて御満悦の様がよく表現されました。

藤代 敏子 (宮内)

精霊も共に在さむ盆の宵
うからの集ふ宴にぎわう

誰しも精霊の在さむイメージの浮かぶ靈祭です。

越川 福子 (宮内)

新涼の肌ひんやりと夜の更くる
そこはかとなくよぎる寂しさ

秋の気配に思案こもももの夜半の感性。

土屋 好 (虫生)

秋めきて裏山辺り蝸の
哀しき調べ夕闇に聞く

すつきりと調べがよくとほつていきますね。

評者 竹内 紀葉

蟬時雨何時しか絶えて新涼の
さ庭明るく女郎花咲く